

勝海舟生誕200年 記念特別展 プロローグ 出帆 麟太郎と四人の先達たち

令和5(2023)年1月6日(金)～4月16日(日)

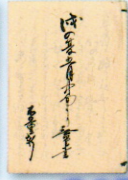
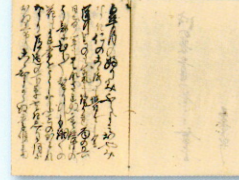
2023年、勝海舟生誕から200年を迎えます。これを記念し、“勝一家にまつわる資料”を通して、海舟77年の生涯を家族や身近な人の視点で紐解く特別展を全4会期に分けて開催予定です。

第1回目の本展は、誕生から幕臣として飛翔を遂げるまでの約30年に焦点を当て、海舟に指針を与えた4人の先達たちとの関係に注目。初公開を含む約10点の資料とともに、海舟の人間形成の過程に迫ります。

自伝『夢酔独言』で知られる海舟の父・小吉。貧乏旗本で幕府での出世は叶いませんでしたが、江戸下町を舞台に豊かな人脈を築き、人望を集めました。小吉最晩年の日記からは、蘭学に勤む息子の姿が垣間見えます。



「不量老自画賛」より



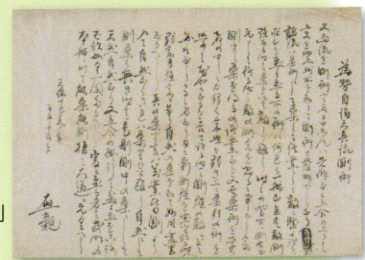
「戊の夏五月中旬より無た書」

生き様を示した父

勝小吉(夢酔)

島田虎之助

豊前中津藩(現・大分県中津市)出身の剣客・島田虎之助。海舟の従兄・男谷精一郎の門弟で、剣術の師として海舟を鍛え、免許皆伝を授けました。剣を使わず敵を制圧する“剛術”(柔術)の達人でもあった虎之助は、海舟の精神修養として剛術などの修業を課しました。虎之助の武術の極意が記されている資料を初公開します。



「為勢自得天真流剛術」

剣と禅を教導



幕閣の先輩

大久保忠寛

佐久間象山

信州松代藩の兵学者・佐久間象山。海舟は20代に入門、兵学や砲術を学び、見識の広さに圧倒されました。初公開となる海舟の学習ノートや、象山が著した書の写し等は、海舟が勉学に費やした若き日々の様子をうかがわせます。



国立国会図書館「近代日本人の肖像」より



「海舟の学習ノート(増補詳註助辞考全)」

Information

勝海舟生誕200年特別企画
「勝海舟記念館 招待券プレゼント」スタンプラリー開催!

2023年1月～2024年3月にかけて開催予定の生誕200年記念特別展の全会期(4回)をご観覧いただいた方に、当館の入館券を1枚プレゼントします。

海舟の生涯を、1年かけて幼少期から晩年まで辿ります。ぜひ全会期ご覧ください。

●スタンプカード配布期間

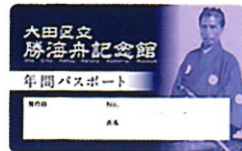
令和5年1月6日(金)～4月16日(日)

※展示室観覧の方に記念館受付でお渡しします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。

おすすめ情報

年4回以上のご来館なら、「年間パスポート(1000円)」がお得です!(入館料300円の方の場合)



大切な方への贈り物に「入館券4枚セット(1200円)」はいかがですか? 洗足池の四季が描かれた特別な入館券です。

(2023年1月新発売)



公式ツイッター



ホームページ



Instagram

発行:大田区立勝海舟記念館
令和4年12月発行

海舟だより 第16号



勝海舟生誕200年記念特別展

プロローグ

出帆

麟太郎と四人の先達たち



2023年
1月6日(金)～4月16日(日)

大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

- 開館時間 午前10時～午後6時
※月曜(祝日の場合は翌日)
12月26日(月)～1月5日(木)は展示替え及び年末年始のため休館
- 入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)
- 所在地 東京都大田区南千束2-3-1
- 電話 03-6425-7608
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。

